

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成31年2月28日 (2019.2.28)

【公表番号】特表2018-512778(P2018-512778A)
 【公表日】平成30年5月17日 (2018.5.17)
 【年通号数】公開・登録公報2018-018
 【出願番号】特願2017-546596(P2017-546596)
 【国際特許分類】

H 0 4 B 17/29 (2015.01)
 H 0 4 W 24/10 (2009.01)
 H 0 4 W 92/18 (2009.01)
 H 0 4 B 17/15 (2015.01)
 H 0 4 W 88/02 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 B 17/29
 H 0 4 W 24/10
 H 0 4 W 92/18
 H 0 4 B 17/15
 H 0 4 W 88/02 1 5 0

【手続補正書】
 【提出日】平成31年1月21日 (2019.1.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ワイヤレス通信ユーザ機器 (UE) デバイスにおいて性能テストするための方法であって、

前記 UE における 2 つ以上のデータチャネルの受信がテストされるべきであることを示すテストアクティブ化メッセージを受信することと、

前記テストアクティブ化メッセージの受信に応答してテストモードを開始することと、

前記 2 つ以上のデータチャネルを受信することと、

チャネルごとに、前記受信された 2 つ以上のデータチャネルから、受信されたトランスポートブロック (TB) または受信されたサービスデータユニット (SDU) のうちの 1 つまたは複数に基づいて 1 つまたは複数の性能メトリックを決定することと、

チャネルごとに、前記決定された性能メトリックのうちの 1 つまたは複数を報告することと

を備え、

ここにおいて、前記テストモードを開始することが、前記関連する 1 つまたは複数のデータチャネル上で正常に受信されたトランスポートブロックまたは SDU のカウントを維持するための 2 つ以上のカウンタを開始することを備え、ここにおいて、前記 2 つ以上のカウンタが、

第 1 のデータチャネルに関連付けられた第 1 の複数のカウンタと、前記第 1 の複数のカウンタの各カウンタが、プロセス識別情報によってインデックスが付けられる、

1 つまたは複数の他のデータチャネルに関連付けられた少なくとも第 2 のカウンタとを備える、

方法。

【請求項 2】

前記受信された S D U が、媒体アクセス制御 (M A C) S D U、無線リンク制御 (R L C) S D U、またはパケットデータコンバージェンスプロトコル (P D C P) S D U のうちの 1 つもしくは複数を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記テストアクティブ化メッセージが、2 つ以上のデバイス間 (D 2 D) チャンネルの前記テストモードを開始するための D 2 D テストアクティブ化メッセージである、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 2 つ以上の D 2 D チャンネルが、物理サイドリンク発見チャンネル (P S D C H)、物理サイドリンク共有チャンネル (P S S C H)、物理サイドリンク制御チャンネル (P S C C H)、または物理サイドリンクブロードキャストチャンネル (P S B C H) のうちの 2 つ以上を備え、

前記 2 つ以上の D 2 D チャンネルが、D 2 D デバイスの発見に関連付けられた少なくとも第 1 のデータチャンネルと、D 2 D デバイスとの通信に関連付けられた少なくとも第 2 のデータチャンネルとを備える、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記テストアクティブ化メッセージが、前記 U E に結合されたテストシステムから受信される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 の複数のカウンタの数が、前記 U E によってサポートされる同時発見プロセスの最大数に対応する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 の複数のカウンタが、各同時発見プロセスに関連付けられたコードによってインデックスが付けられる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 の複数のカウンタの数が、前記 U E によってサポートされる同時物理サイドリンク制御チャンネル (P S C C H) プロセスの最大数に対応する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 1 の複数のカウンタが、D 2 D デバイスの論理グループの識別情報によってインデックスが付けられる、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 の複数のカウンタの数が、前記 U E によってサポートされる同時物理サイドリンク共有チャンネル (P S S C H) プロセスの最大数に対応する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記第 1 の複数のカウンタが、P S S C H ソースのソース識別情報、P S S C H 宛先の宛先識別情報、または論理チャンネル識別情報 (L C I D) のうちの 1 つまたは複数によってインデックスが付けられる、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 2 のカウンタが、物理サイドリンクブロードキャストチャンネル (P S B C H) に関連付けられる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

1 つまたは複数の性能メトリックを前記決定することが、

前記 第 1 のデータチャンネル上の各それぞれのプロセスに関連付けられた正常に受信された トランスポートブロックまたは S D U ごとに、前記それぞれのプロセスに関連付けられた 前記第 1 の複数のカウンタのカウンタをインクリメントすること

を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

前記性能メトリックのうちの 1 つまたは複数を報告することが、

前記 2 つ以上のカウンタのうちの前記第 1 の複数のカウンタの要求されたカウンタについてのカウンタ情報を報告する要求を受信することと、

前記報告する要求の受信に応答してカウンタ情報の報告を送信することと、前記カウンタ情報の前記報告が、前記要求されたカウンタに関連付けられた前記第 1 の複数のカウンタの各々についての情報と、前記第 1 の複数のカウンタのカウンタと前記プロセス識別情報との間のマッピングとを備える、

を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】

ワイヤレス通信ユーザ機器（UE）デバイスを性能テストするための装置であって、プロセッサと、

前記プロセッサと電子通信しているメモリと、

前記メモリに記憶された命令とを備え、ここにおいて、前記命令が、前記プロセッサによって、請求項 1 ～ 請求項 14 のうちのいずれか一項に記載の方法を実行するために実行可能である、

装置。

【請求項 16】

ワイヤレス通信ユーザ機器（UE）デバイスを性能テストするためのコードを記憶する非一時的コンピュータ可読媒体であって、前記コードが、請求項 1 ～ 請求項 14 のうちのいずれか一項に記載の方法を実行するために実行可能である命令を備える、

非一時的コンピュータ可読媒体。